

昭和の大嘗祭と上広川村 【その2】

各地のさまざまな産物を納入

大嘗祭では各都道府県から精米1升、精粟5合が納入されました。これに加え、福岡県に対しては、小麦1升、蓮根7本、乾鯛5枚（1尺）、乾鮎百尾（7寸）などが注文（買い上げ）されています（『昭和主基齋田記録』）。

県ではこれらの品々を、次のように県下の産地に振り分けて納入を図りました（住所は当時のもの）。

小麦……京都郡犀川村
蓮根……戸畑市大字戸畑
乾鯛……宗像郡津屋崎漁業組合・糸島郡加布里漁業組合

乾鮎……八女郡水産会、浮羽郡水分村

乾鮎は、矢部川筋の黒木町祇園社前の白川（八女郡水産会）と、筑後川の両筑橋の上流（浮羽郡水分村）で採ったと記録されています。かなりの人数が関わったようで、名誉なことではありながらも、大変な作業であったことがうかがえます。

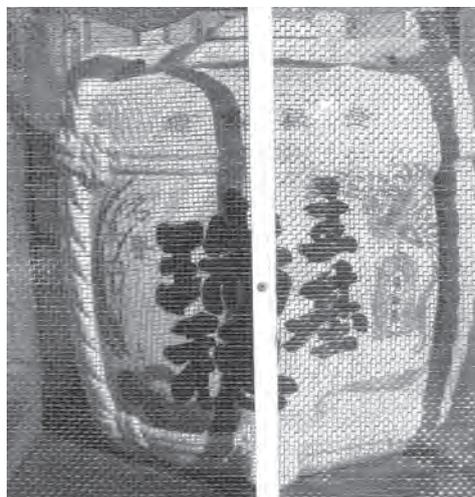
こうして全国各地から納入された産物は、大嘗宮の悠紀

殿・主基殿の前面にしつらえられた、庭積帳殿に並べられたと考えられます。昨年11月14日に挙行された令和の大嘗祭でも、同じような場面がテレビで報じられました。

昭和の大嘗祭では、神事後の饗宴で、悠紀・主基両地方の風俗歌舞が演じられました。『昭和主基齋田記録』によると、主基地方（福岡県）の歌舞では「ちはやふる（高良）の山の（神籠石）かいつくつれし 御代にならひて」の一節が歌われ、旋律は星野村（現八女市）のハンヤ舞を主体としたものでした。

広川町に残る大嘗祭の記念

前号では、大字水原の水田が主基田候補地として、最終10か所に残ったことを紹介しました。主基田とはならなかったものの、大嘗宮御造宮のための御用藁齋田に選ばれたことなどを記念し、地元の諸



主基瑞穂の銘柄が記された酒瓶（内田区・諸藤公園）

藤造酒場（現在の内田区・諸藤公園）が「主基瑞穂」という銘柄の酒をつくっています。同公園の一角にはその銘が記された酒瓶が保存されており、往時をしのぶすがとなっています。

また、村々では御大礼（御大典）を祝い、鎮守社の玉垣などを整備しています。長延区山村貞吉が架けた眼鏡橋です。令和の大嘗祭はテレビを通して、わずかに見る事ができました。しかし秘儀中の秘儀に変わりはなく、すべてが明かされているわけではありません。本稿は公刊された記録をもとに、その一端をご紹介します。

広川町古墳資料館だより

資料館の南広場に復元された家形石棺ですが、屋根と棺身の短辺両側面はまだ彫刻されていません。そこで、彫刻家の西平孝史氏に試し彫りを依頼しました。

棺蓋は軟らかい石材のため、通常の彫刻が施せますが、石棺は硬い石材のため、簡単に彫刻することはできません。そのため、タン

ガロイ（先端が超合金製の石ノミ）で線彫りし、その溝をサヌカイトの石片で補正しながら摩耗させました。

今回の試し彫りで、この作業がワークショップ経験者ならば可能だと分かりました。ワークショップは今年度数回開催し、西平氏とともに石棺を仕上げていく予定です。



総合クラブひろかわ

- 絵巻寿司づくり&グランバードクリスマスコンサート -



今回はおひなさまの
絵柄に挑戦!

●楽しい♪絵巻寿司づくり

美しい切り口で食卓を彩る「絵巻寿司」。身近にある食材で簡単に作りましょう!

[日時] 2月26日(水) 10:00 ~ 13:00

[会場] 太田区公民館

[定員] 先着 30人

[持参物] 参加費 (1,000円)、エプロン、三角巾、手拭きタオル、筆記具
※巻きすはお貸します

[講師] 小野富子さん (JSIA 飾り絵巻寿司 1級インストラクター)

[申込方法] 2月19日(水)までに、総合クラブひろかわ事務局へお電話ください。



●グランバードクリスマスコンサート

12月15日(日)、グランバードが懐かしい歌謡曲やオールディーズ、グループサウンズなど、数多くの楽曲を演奏しました。一緒に歌ったり踊ったりする観客の姿もあり、活気あふれるコンサートとなりました。

☎総合クラブひろかわ事務局 (教育委員会事務局生涯学習係内) ☎0943-32-0093

広川文芸

ひろかわ俳句会



城山に上がる火の手や冬紅葉
冬日さす人影もなし金閣寺
短日や下校の児等の声ひびく
雨あがり冬の山なみ息を吐く
大根引く土の匂ひのこぼれけり
もう少しこの世に未練冬紅葉
一人居の沢山の具や冬至鍋
引きこもり今日は何する寒の雨
真夜中の冬の天窓月光る
山歩きペアールツクの冬帽子
晩秋の玄界灘はなまり色
枯蔦をはらりとほどく木肌かな

櫻の会

鉛色の玄界灘に二筋の波跡つづく水中翼船
ほとばしる汗そのままに箱根路を意地張り合ひてタスキを繋ぐ
古箏筒あければ昭和平成を共に過しし衣ころもこもごも
薄皮を剥がすごとく到大衆の群れに馴染める術すべ会得せり
「四海波」といふ花器に若松を生けて世界の平和を祈る
羅漢寺への道は険しく参拝は「棄てたき事のみ記せ」と書かる
寒空に草木は褪せて息ひそむ母逝きし日の空ろさに似て
年越しを八十四回つみ重ねわが行く末を幸あれと祈る
うつし世をひと筆文字に書くのなら忍草しのぶなり亦またいつまで草

野中 勝美
一瀬砂智子
池田 和代
中倉 明美
細川 徳子
濱武美智子
山崎美代子
中嶋 玉子
青木佳代子

水本 辰次
一瀬砂智子
山崎 陽子
青木佳代子
原口あつ美
水本 艶子
結束 節子
酒井 司
松延 朝美
渡辺 弘子
野中 勝美
柴田 眞理